

平成30年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	41	学校名	静岡商業高等学校	校長名	中澤秀紀
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
1	基礎学力の向上	①授業診断を学期末毎に実施するとともに、平均2時間程度の家庭学習を確保する。 ②全商検定3種目1級100人以上を目指す。	①毎学期授業診断を実施した。家庭学習の習慣化がある者は48%であった。 ②全商3種目1級取得者は67人で、県内では2番であった。	B	①家庭学習の習慣化については、徐々に改善しているが、より一層の充実を図りたい。ICT機器を使用しての授業が普通教科においても増えた。 ②検定前にインフルエンザが流行したことによる影響か、合格者数が例年より減少した。
2	進路指導の充実	①就職内定率及び進学率100%を目指す。	①就職希望者167人中165人、また進学希望者114人全員が決定した。	A	①就職：生徒の要望を聞き、求人拡大ができた。3年部との情報共有が十分にでき、HR担任の協力が得られた。 進学：生徒が希望する校種、学科への進学が概ね達成できた。さらなる学力の育成に努めたい。1・2年に対し計画的・継続的なキャリア教育が必要。自学自習できる環境の構築。
3	基本的な生活習慣の定着	①毎日の遅刻者を5人以下にする。 ②自転車に関する不快行為及び運転による事故をゼロにする。	①1日の欠席者の平均は7.1人(1,378人/194日)、遅刻者の平均は2.7人(現在525人/194日)であった。 ②自転車事故は22件であった。	B	①遅刻した生徒の入室方法について職員間のコンセンサスを図りたい。盗難防止のため、貴重品ロッカーを設置した。生徒指導内規の見直しを考える。生徒の善行について外部からお便りをいただく機会が多かった。 ②交通事故、イエローカードの発行が増えた。
4	心身の鍛錬と健全な精神の育成	①各部活動県大会以上の出場を達成する。 ②全学年で薬学講座と健康講座を年1回以上行う。	①運動部については、全ての部活動で県大会以上に出場した。 ②1学期に薬学講座、2学期に、健康講座(保健委員による睡眠に関する研究発表会)を全校生徒対象に行った。	A	①全国大会出場をはじめ、多くの部活動が活躍した。また、生徒商業研究発表大会全国大会に多くの生徒が関わった。 ②全校生徒の前で行った保健委員会の発表は立派であった。
5	保護者や同窓会及び地域との連携	①PTA総会は30%以上、地区懇談会は90%以上の参加率を目指す。 ②中学生一日体験入学は800人以上、公開授業は200人以上の参加人数を目指す。 ③同窓会と連携してHPを充実し、情報発信に努める。 ④地域の特色を生かした商品の開発と販売を実践する。	①PTA総会の参加率は24.9%、地区懇談会の参加率は91.6%であった。 ②体験入学の参加者は870人、公開授業の参加者は274人であった。 ③HPの改善に取り組めた。 ④課題研究やマーケティングを通して実践した。(お茶受けの飴、檸檬餃子、栄養パン等)	A	①地区会の開催にあたりブロック編成を手直してきた。地区会の参加率は目標を達成できた。 ②体験入学、公開授業とも目標を達成でき、本校の良さを伝えることができた。 ③さらに良いものを目指す。 ④販売実習、ふじの国実学チャレンジフェスタ、地域創生研究発表大会など、校外で積極的に活動する場が持てた。

様式第3号

6	いじめや体罰の根絶	①アンケートを実施し生徒や保護者の意見等を丁寧に聞くことで根絶に努める。	①毎学期、いじめ・体罰のアンケートを実施した。また、学年・相談室・保健室との連絡を密にできた。	A	①いじめ・体罰の報告はなかった。クラスや部活動と学年・相談室・保健室と情報共有を行うことができた。早めの対応を心がけた。
7	業務の在り方を見直す	①業務改善に向けた提案を全職委員から募集し、意識を高める。	①来年度に向け、教職員の負担改善を進めることができた。	A	①教育課程や授業、分掌の在り方を見直すことにより、職員の業務量を減らすことができた。